



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 令和3年1月号

## 白川郷ファンとつくるオンラインイベント！！～かややねフェス2020～

コロナ禍のため村外支援者の方にご参加いただけなかった今年の茅刈り。例年、茅刈りの準備やサポート、2日目の企画をしてくださっている「かややね会議」のメンバーを中心に、来年の茅刈りに向けて村民の皆さんとつながりたいという思いから、見出しのイベントを企画、開催してくださいました。

### 企画①11月11日：お菓子で合掌造り民家を作ろう！

ポッキーなどで合掌造りを再現。村外参加者からは「合掌造りの構造がわかって勉強になった」「村民の方とお話できて暮らしの様子が伝わってきた」「来年こそは茅刈りに参加したい」等の感想をいただきました。



←ポッキー合掌を合成！！



### 企画②11月12日：お気に入りの茅写真を語ろう！

参加者イチオシの“茅の写真”について語りました。白川村以外の茅刈りに関わっている方も多く、茅刈りの共通点や相違点を知ること、白川村の魅力を変えて実感できる時間でした。「芝棟（棟の部分に芝が生えている）がかわいい」「世界を見渡すと、丸みを帯びてかわいいフォルムの茅葺きの建物もある」というお話を聞いて、茅の世界は広いなと感じました。日本では茅と言えば昔ながらの民家のイメージが強いですが、最近では照明や壁面に使用されている例もあるようで、茅のイメージが“新しいもの”に変わりました。茅が当たり前のようにある白川村で、皆さんのお気に入りの風景は何ですか？ぜひ教えてください！（写真提供：イベント参加者の猶木様）



茅の舎「茅の照明」



熊谷産業「茅で仕上げた外壁」

今年は、村外支援者の方にお会いすることは叶いませんでしたが、同じテーマを共有し、共に合掌をつなごうという思いで一つになれたのではないのでしょうか。ご参加くださった皆様へ、感謝申し上げます。 【文責：福田】

# 五箇山国史跡50周年・世界遺産25周年記念フォーラム開催！！

去る12月5日午後、南砺市下梨において、見出しのフォーラムが開催されました。コロナ感染症対策を施し、菅沼及び相倉集落住民を始めとする関係者が集う中、白川村教育委員会、守る会より会長和田が出席をさせていただきました。

オープニングは地元相倉獅子舞保存会と五ヶ山獅子舞保存会による勇壮な獅子舞に始まり、式典、早稲田大学名誉教授宮口氏による記念講演『五箇山の特異な歩みとその価値』、平高校五箇山ガイド研究会による活動発表、国史跡保存活用計画の説明、懐かしの映像、パネルディスカッション『史跡と暮らす。これまでの50年、これからの50年。』、最後は集落の子ども達による未来への宣言と、充実の内容でした。

同じ世界遺産の仲間として、重伝建という共通のくくりを持ちながらも、実質白川郷は伝建制度で、実質五箇山は国の史跡として50年を歩んできたその熱い想いや努力の足跡をたくさん学ばさせていただきました。住民・行政・有識者が一体となり取り組む大切さ。獅子舞に代表される、伝統文化を守り続ける住民の絆と熱意、パネルディスカッションでの住民の方々の地域を愛する熱い想い等々、貴重なイベントに同席させていただき、感慨もひとしおでした。

具体的な取り組みの中では、早くから空き家対策に取り組んできた、相倉の「住まんまいけプロジェクト」の成果。移住された方がよそ者でなく、大切な必要な住民の1人として生活してみえます。また、合掌家屋の保存と同等に茅場の整備保存に努めてきた成果。住民の茅場を守り続けようとするこだわりや菅沼の企業の支援を活かした茅場の創世は、これからの白川郷が課題としている内容を解決していく上で、大きな参考となる取り組みであると感じています。

いよいよ守る会も、今年は設立50周年！！ コロナ禍の中、様々な制約も出てこようかと思いますが、それらを乗り越え、この節目をどのような形で次代へつなぐか、住民みんなで考え取り組む1年を創り上げていきたいと考えています。皆様の積極的な参加とお力添えを、どうかよろしくお願い申し上げます。（写真上：勇壮な獅子舞は住民団結のシンボル、写真中：平高校ガイド研究会の故郷を来訪者に発信する取り組み、写真下：パネルディスカッション菅沼相倉の皆様）【文責：和田】



## ＝ 12月の活動報告 ＝

12月 1日 大奇合書面開票作業及び確認会議（荻町区）  
12月 5日 五箇山国史跡50周年記念フォーラム（教育委員会・会長）  
12月 10日 12月定例会・役員会

12月 11日 会報紙ねそ12月号配付  
12月 31日 白川八幡神社除夜祭（会長）  
2月の定例会は10日（水）を予定しています。

### 守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

### ☆1月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

定例会は1月19日開催予定のため、2月号に掲載いたします。